

シングルマザーのアライ(応援者)になろう！

あかいし ち え こ
赤石 千衣子

あなたはさまざまなコミュニティでシングルマザーに出会っているだろう。そして今、シングルマザーが置かれている状況は個々に違いはあっても、非常に大変だということをご存知だろうか。日本のシングルマザーは、世界一就労率が高い／でも年収は平均212万円(手当・年金含む)で生活が厳しい／養育費を支払い続けている父親は17.7%に過ぎない／生活を支える児童扶養手当や生活保護などが削減されつつある／シングルマザーは怠けてはいない、それどころか非常に努力しているのだ。

日本では、シングルマザーの約85%が働いていて、男女平等が進むスウェーデンのシングルマザーの就労率70%より高い。にもかかわらず、男女間の賃金格差や正規・非正規雇用の格差が大きく、そのうえ女性の再就職が厳しいため、安定した収入の仕事にはなかなか就けず、低賃金で生活は苦しい。ワーキングプアであるにもかかわらず、2008年から日本のシングルマザーが生活していくうえで大切な児童扶養手当や生活保護が削減される。現状を踏まえての施策ではない。

シングルマザーは、より幸福になるために勇気ある決断をしてきた女性たちであり、また子どもたちにとってはすばらしい母親である。これは彼女たちの生き方への共感に基づいた理解であって、同情ではない。周囲の人にしてほしいサポートは、シングルマザーのアライ(理解者、応援者)になること。それはシングルマザーへの偏見に満ちた言説に会ったら反論することであり、児童扶養手当を削減させないために行動することに理解を示し、手を貸すことだろう。それが私たち女性の生き方の幅を広げていくことにつながる。

■プロフィール NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーむ理事。非婚シングルマザーになって25年。ふえみん婦人民主新聞編集部運営委員。編著書に『母子家庭にカンパイ！』『シングルマザーに乾杯！』(以上現代書館)、『個人と家族がねらわれるとき』(岩波書店) などがある。各地でシングルマザーのサポートグループを開く。